

消防庁舎の整備について

鳥取県東部広域行政管理組合

1. 整備基本方針

消防庁舎については、殆どの施設が昭和 56 年以前の旧耐震基準で建築されており、耐震性を表す Is 値が基準以下であること、また、耐用年数にほぼ到達しており老朽化が進行していること、さらには消防車両の大型化に伴い車庫スペースが狭隘化していること等の問題が生じており、これらへの対応が急務となっています。

このため、構成市町の副市長、副町長及び消防担当課長で組織する検討会で協議を重ね、平成 25 年 12 月に消防庁舎の整備に係る基本方針を策定しました。

施設毎の整備目標年度については、A A・A・B・C のランク付けによる優先度を踏まえ、個別具体的に実務レベルで検討していくこととしています。

2. 施設毎の整備目標年度

令和元年度から建設業における働き方改革の取組等を踏まえ、1 つの庁舎の整備期間（設計業務から建設工事完了まで）を 2 ヶ年から 3 ヶ年とするよう見直しを行いました。

今後は、下記の整備目標年度を基本に、構成市町における用地取得状況や財政状況等を勘案しながら、具体的な整備を進めます。

(令和 5 年 4 月現在)

署 所 名	構 造	竣工年月	耐用年数	経過年	Is 値 ^(※)	優先度	整備目標年度
八頭消防署若桜出張所	鉄骨造平屋建	S54. 9	38 年	43 年	0. 25	B	R4～6 年度
気高消防署	鉄骨造 2 階建	S53. 9	38 年	44 年	0. 28	B	R6～8 年度
鳥取消防署国府分遣所	鉄骨造平屋建	S54. 9	38 年	43 年	0. 10	B	R6～8 年度
同 消防署吉方出張所	鉄骨造平屋建	S52. 3	38 年	46 年	0. 53	B	R7～9 年度
気高消防署青谷出張所	鉄骨造平屋建	H2. 3	38 年	33 年	—	C	R8 年度以降検討
湖山消防署	鉄筋コンクリート造 2 階建	S53. 3	50 年	45 年	0. 96	C	〃
鳥取消防署	鉄筋コンクリート造 4 階建	H 1. 3	50 年	34 年	—	C	〃

※Is 値／0.3～0.6……倒壊し、又は崩壊する危険性がある。 0.3 未満……倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

また、整備基本方針策定後に整備された庁舎は以下のとおりです。

署 所 名	構 造	竣工年月	耐用年数	経過年	整備前の優先度
鳥取消防署東町出張所	鉄筋コンクリート造 2 階建	H28. 2	50 年	6 年	A A
岩美消防署	鉄筋コンクリート造 2 階建	H31. 3	50 年	3 年	A
八頭消防署	鉄筋コンクリート造 2 階建	R2. 2	50 年	2 年	A
八頭消防署智頭出張所	鉄筋コンクリート造平屋建	R4. 3	50 年	1 年	A
同 消防署用瀬出張所	鉄筋コンクリート造 2 階建	R4. 12	50 年	0 年	A